

最強の投資手法「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、「日足スーパーボリンジャー」と「週足スーパーボリンジャー」に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 6 月 8 日終値時点での判断です。内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。(尚、本レポートでは、スパンモデルに関するレポートは省略している点、ご了承ください)

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=ドル上昇バイアスを伴ったレンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+2 σ ラインと-1 σ ラインの間でのドル上昇バイアスを伴ったレンジ相場と判断。尚、遅行スパンとローソク足の「同期性」にも注目。すなわち、ローソク足の上昇歩調に合わせて、遅行スパンが上昇していくシナリオ(すなわち、ドルじり高推移)を念頭においておきたい場面が続くと読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=本格的な調整の反騰局面継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値がセンターラインの上方を推移しており、本格的な調整の反騰局面と判断。尚、目先は、レンジ相場の地合いにあり、 $+2\sigma$ ラインとセンターラインの間でのレンジ相場とも読む。イベントの多い週だけに、相場乱高下の展開に注意しておきたい。

■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝調整の反騰局面

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝日足終値が -1σ ラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面と判断。尚、終値がセンターラインの上方で引けており、調整が本格化していると読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝本格下落トレンド継続中

○遅行スパン＝陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。尚、終値が -2σ ラインの上方で引けており、特に勢いのある「走る相場」は一旦終了したと読む。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=調整の反騰局面、レンジ相場

○遅行スパン=陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値が -1σ ラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面と判断。尚、目先、レンジ相場の地合いにあり、 $+1\sigma$ ラインと -1σ ラインの間をコアとするレンジ相場とも読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=緩やかな下落トレンド

○遅行スパン=陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドと判断。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観=レンジ相場、往来相場

○遅行スパン＝陽転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、 $+2\sigma$ ラインと -2σ ラインの間での往来相場、レンジ相場と判断。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝調整の反騰局面、緩やかな下落トレンド

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面と判断。一方、終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドとも読む。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝調整の反騰局面、レンジ相場

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面と判断。尚、目先、 $+1\sigma$ ラインと -1σ ラインの間でのレンジ相場とも読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断)

○大局観＝下落バイアスを伴ったレンジ相場

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝目先、センターラインと -2σ ラインの間でのレンジ相場と判断。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。